

平成27年7月31日	
担当課	経済環境局 環境部 環境保全課
担当者	課長 新里 茂教 所長 松浦 秀一
電話	(本庁) 06-6489-6305 (環境監視センター) 06-6412-3704

「平成26年度における環境の現況」の概要について

尼崎市では、公害の防止に関する施策を適切に実施するため、大気汚染、水質汚濁、騒音・振動等の監視・測定を継続して行っており、このたび、平成26年度の結果をとりまとめましたので、その概要を公表するものです。

なお、詳細につきましては今年度中に発行する予定の「尼崎の環境」に掲載することにしております。

◇常時監視◇

1 大気汚染

- 二酸化窒素は一般環境大気測定所2ヵ所及び自動車排出ガス測定所6ヵ所のすべてで環境基準に適合していた。
- 浮遊粒子状物質は一般環境大気測定所2ヶ所及び自動車排出ガス測定所2ヵ所のすべてで環境基準に適合していた。
- 光化学オキシダントは一般環境大気測定所3ヵ所のすべてで環境基準に適合しなかった。光化学スモッグ広報は、予報、注意報とも発令されなかった。
- 微小粒子状物質は、一般環境大気測定所1ヵ所及び自動車排出ガス測定所3ヵ所のすべて^{※1}で環境基準に適合していなかった。
- 二酸化窒素、二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、一酸化炭素、微小粒子状物質については、近年減少から横ばいの傾向で推移している。光化学オキシダントについては横ばいの傾向で推移している。

2 自動車騒音

自動車排出ガス測定所6ヵ所のうち、自動車騒音は夜間が1ヵ所で環境基準に適合していなかった。

3 その他

① 気象

気温については年平均値17.1℃で過去年平均値^{※2}(17.2℃)と同程度であった。
降水量については1245.0mmで過去年平均値(1283.7mm)と同程度であった。

② 交通量

自動車排出ガス測定所5ヵ所の自動車交通量は近年横ばいか、やや減少傾向で推移し

※1 等価性試験合格機種でない参考値を含む。(自動車排出ガス測定所1ヵ所)

※2 過去年平均値：過去10年間の年平均値の平均(降水量は過去10年間の年間降水量の平均)

ている。

◇定期監視◇

1 大気汚染

① 有害大気汚染物質・ダイオキシン類

有害大気汚染物質の4物質(ベンゼン、トリクロエチレン、テトラクロエチレン、ジクロロメタン)すべてが環境基準に適合した。また、ダイオキシン類については、大気1地点、水質・底質の各4地点、土壌1地点のすべてで環境基準に適合していた。

② アスベスト

4地点で環境測定を実施した結果、いずれも低い濃度であった。

2 水質汚濁

① 公共用水域

河川(11地点)のBOD、海城・運河(3地点)のCODについては、近年ほぼ横ばいで推移しており、全地点で環境基準(蓬川は環境上の基準)に適合していた。

健康項目については、全地点で環境基準に適合していた。

② 地下水

概況調査7地点、定期モニタリング3地点のうち、過去に環境基準に適合しなかった定期モニタリング2地点で健康項目の2項目が環境基準に適合しなかった。

3 交通騒音・振動

① 主要幹線

自動車騒音は25地点中2地点で夜間の環境基準に適合しなかった。

道路振動は16地点すべてで要請限度を下回った。

② 山陽新幹線

騒音は、24地点中5地点で環境基準に適合しなかった。

振動は、24地点すべてで新幹線鉄道振動対策指針値を下回った。

◇公害苦情◇

公害に関する総苦情件数は286件でその約7割以上が大気汚染と騒音であった。

<資料>

平成26年度における「環境の現況」

以上

◇参考(他機関測定データとの比較)◇

1. 尼崎市内で測定が行われている他機関による測定結果との比較は以下のとおりです。

測定局名称	設置機関	平成 25 年度		平成 26 年度	
		二酸化窒素 (ppm)	浮遊粒子状物質 (mg/m ³)	二酸化窒素 (ppm)	浮遊粒子状物質 (mg/m ³)
十間交差点局(国道 2 号)	国土交通省*	0.048	0.061	0.042	0.053
東本町交差点局(国道 43 号)	国土交通省*	0.059	0.053	0.055	0.047
五合橋局(国道 43 号)	国土交通省*	0.057	0.056	0.053	0.049
西本町局(国道 43 号)	国土交通省*	0.050	0.058	0.046	0.049
国道 2 号(浜田)	尼崎市	0.038	—	0.034	—
国道 43 号(武庫川)	尼崎市	0.058	0.064	0.053	0.050
県道尼崎宝塚線(武庫荘総合高校)	尼崎市	0.043	—	0.036	(0.048)
県道米谷昆陽尼崎線(砂田子ども広場)	尼崎市	0.044	0.055	0.039	0.050
県道尼崎池田線(上坂部西公園)	尼崎市	0.042	—	0.038	—
市道尼崎豊中線(園和小学校)	尼崎市	0.035	—	0.033	—
西本町(阪神高速道路 3 号神戸線)	阪神高速道路	0.050	—	0.047	—
元浜公園(阪神高速道路 3 号神戸線)	阪神高速道路	0.053	—	0.048	—
環境基準		0.06 以下	0.1 以下	0.06 以下	0.1 以下

は環境基準の長期評価に適合しないもの

備考 *(出典)国土交通省近畿地方整備局「大気常時観測局の平成 26 年度測定結果」

()内数値は有効測定時間未満の測定所で参考値

自動車排出ガス測定所について、二酸化窒素は、平成 25 年度に引き続き、12 カ所すべてで環境基準に適合していた。

浮遊粒子状物質について、平成 25 年度に引き続き、6 カ所すべてで環境基準に適合していた。

2. 尼崎市と兵庫県、全国の測定結果比較

(1) 大気環境

①一般局の環境基準達成状況（環境基準達成率（%））

	項目	尼崎市 (H26)	兵庫県 (H25) *1	全国 (H24) *2
一般局	二酸化窒素	100	100	100
	浮遊粒子状物質	100	98.2	99.7
	光化学オキシダント	0	0	0.3
	二酸化硫黄	100	100	99.7
	一酸化炭素	100	—	100
	微小粒子状物質	0	8.3	43.3

②自排局の環境基準達成状況（環境基準達成率（%））

	項目	尼崎市 (H26)	兵庫県 (H25) *1	全国 (H24) *2
自排局	二酸化窒素	100	100	99.3
	浮遊粒子状物質	100	92.6	99.7
	一酸化炭素	100	100	100
	微小粒子状物質	0	0	33.3

*1 平成 25 年度大気・水質等常時監視結果について（平成 26 年 7 月 31 日、兵庫県）

*2 平成 24 年度大気汚染状況報告書（平成 26 年 7 月、環境省）

(2) 水質環境

公共用水域の環境基準達成状況（環境基準達成率（%））

項目	尼崎市 (H26)	兵庫県 (H25) *1	全国 (H25) *3
健康項目	100	94.3	99.2
河川BOD	100	97.4	92.0
海域COD	100	76.9	77.3

*3 平成 25 年度公共用水域水質測定結果（平成 26 年 12 月、環境省）

平成 26 年度尼崎市においては、大気・水質共に、広域・越境汚染等の課題がある光化学オキシダントと微小粒子状物質を除き、上記測定項目についての環境基準をすべて達成しました。

以上